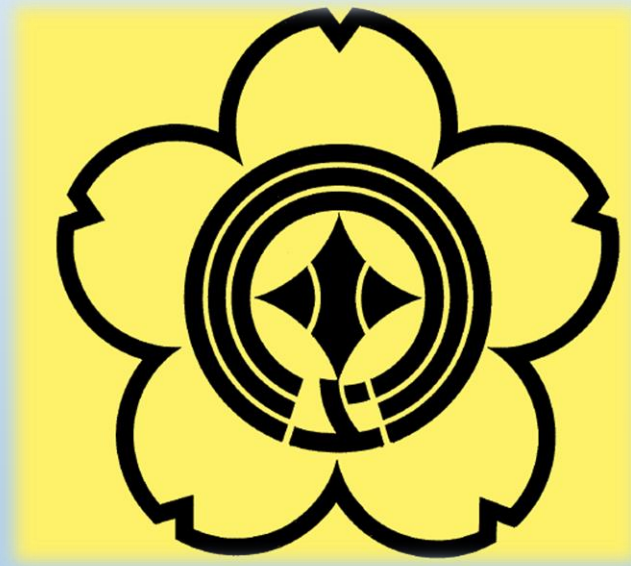


**令和3年度**

**学校評価（前期）結果**



**岩国市立川上小学校**

# 【学校教育目標（小中一貫教育目標）】

ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成

山口県教育委員会  
教育目標

未来を拓く  
たくましい  
「やまぐちっ子」  
の育成

(めざす学校)

3つの元気がある学校（子ども・地域・教職員）

岩国市教育委員会  
基本目標

志高く  
豊かな心と  
生き抜く力  
を育む

(めざす児童像)

**主体的な子ども(気づき・考え・行動する)**

- かしこい子「自ら学び、自ら考えて行動する子」（知）
- やさしい子「ふるさとや友達を愛し、楽しく協力できる子」（徳）
- たくましい子「明るく心身ともにたくましい子」（体）

**チャレンジ目標**（令和3年4月8日 全校児童で作成）

大きな声と笑顔であいさつ  
自分で考え行動

しっかり聞いて、反応を返す  
みんなで仲良く遊ぼう

# 【重点取組事項】

## 1 子どもが元気な学校づくりの推進

○かしこい子「自ら学び、自ら考えて行動する子」（知）

- ・ 児童一人ひとりが目標設定の大切さに気づき、その振り返りから学ぶことを繰り返しながら成長し続ける習慣を確立する。（主体的な学び）

○やさしい子「ふるさとや友達を愛し、楽しく協力できる子」（徳）

- ・ ふるさとで学び、多くの言動に触れる中で、自分の考えをもつとともに、自分とは違う考え方や行動も認め、楽しく協力できるコミュニケーション力を高める。

○たくましい子 「明るく心身ともにたくましい子」（体）

- ・ 家庭や地域との強い連携による、よりよい生活・運動習慣を確立する。

## 2 地域が元気な学校づくりの推進

○つながり「地域連携・小中一貫・協育ネットの連携・協働」

○元気発信「川上学をとおしての元気発信」

## 3 教職員が元気な学校づくりの推進

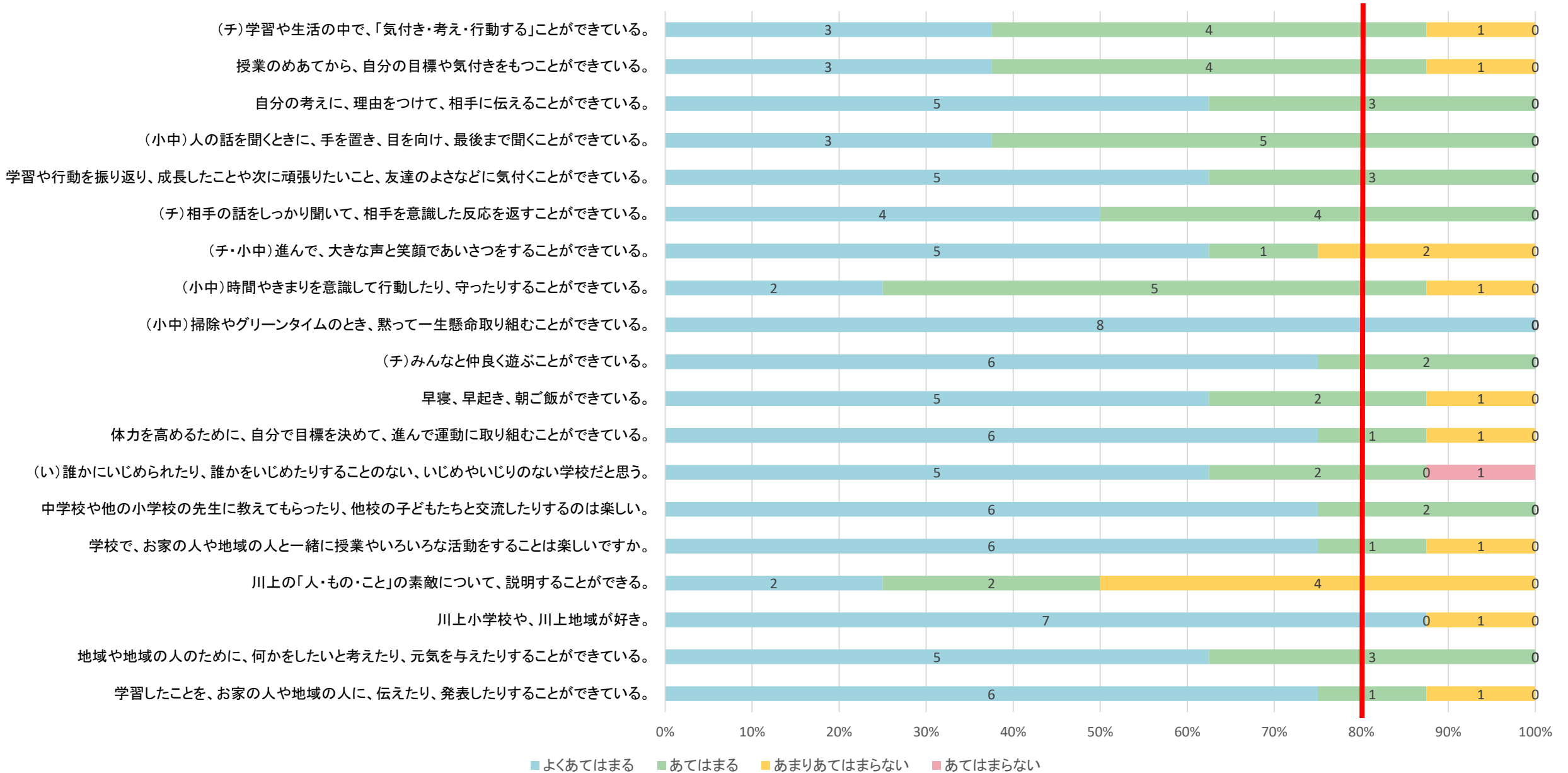
○自ら学ぶ教職員「自己の強みを活かしてのキャリアビジョンの構築、研修開催・参加」

○総ぐるみの学校「学校課題の共通理解と協働実施、同僚を思いやる心とフォロー体制」

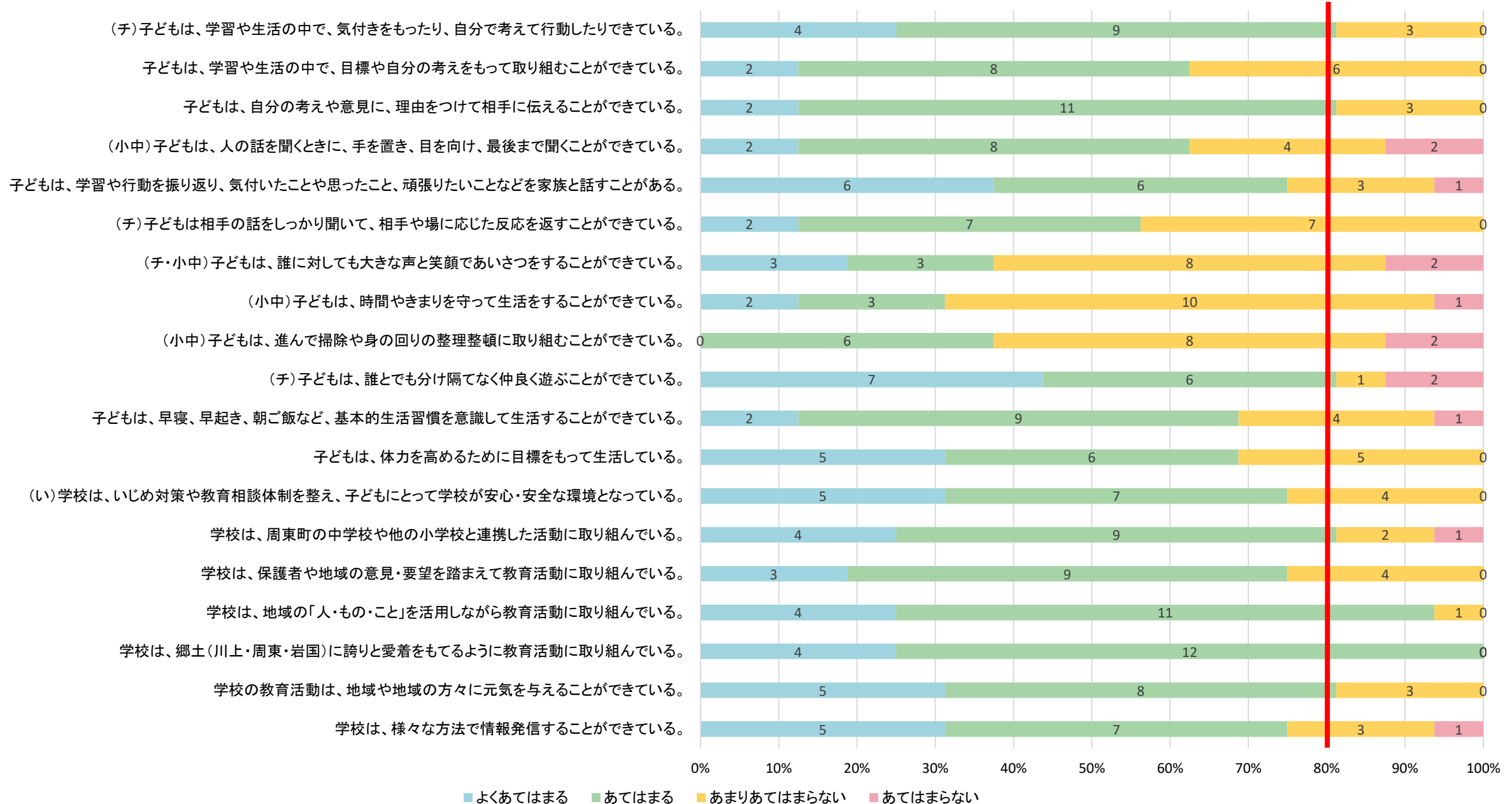
○働き方改革「ワークライフ・バランスを踏まえた働き方」

つながり・見える化  
(数値・情報発信+協働)

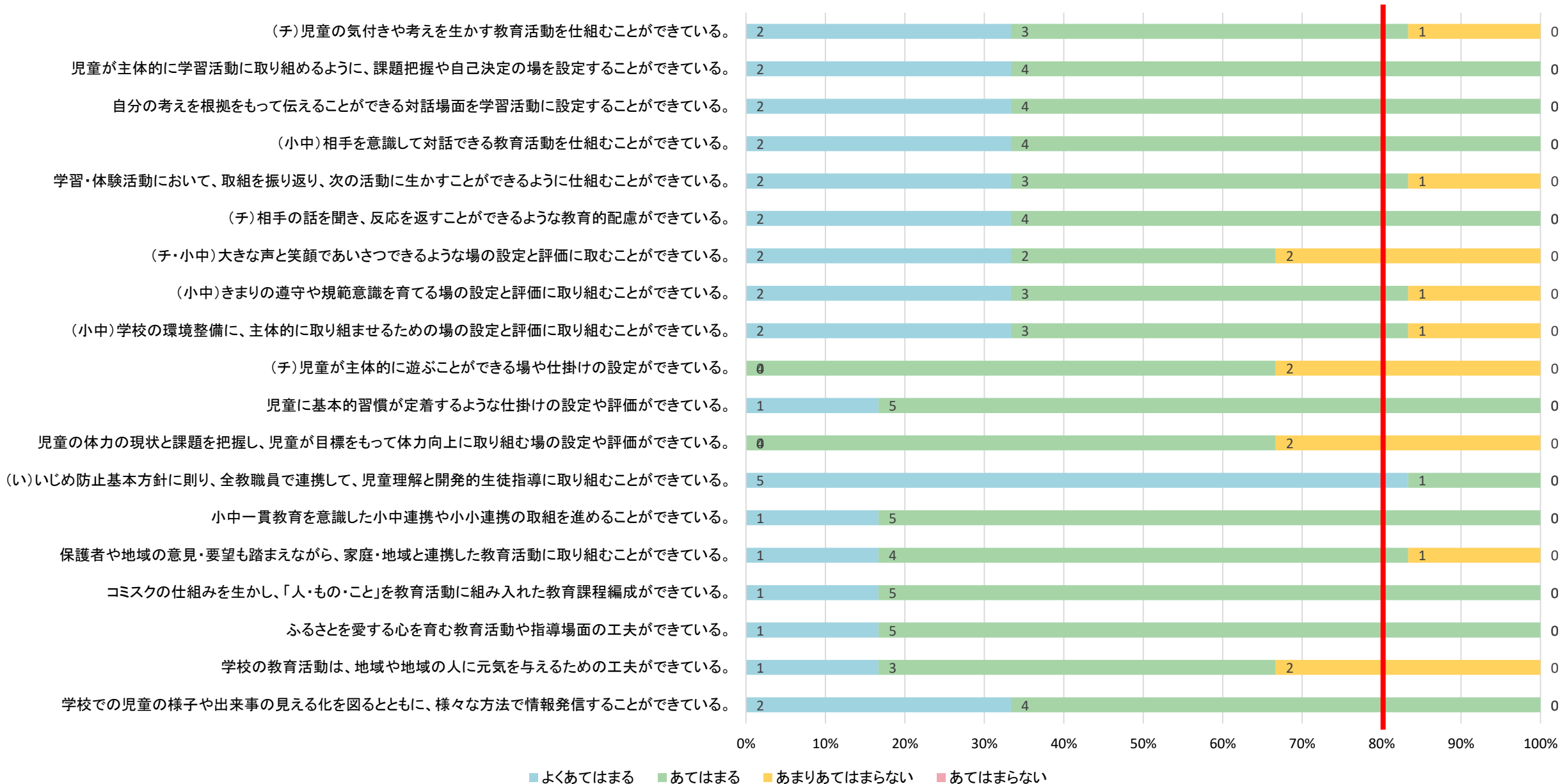
## 児童アンケート（前期）結果



## 保護者アンケート（前期）結果



## 教職員アンケート（前期）結果



アンケート肯定的評価 90%以上 (青) 80%~90% (緑) 70%~80% (黄) 70%未満 (ピンク) 50%未満 (赤)

	重点目標	具体的方策(口教育活動)	関連	児童アンケート	保護者アンケート	教職員アンケート
子どもが元気	めざす子ども	学校教育活動・家庭生活での啓発	チ	学習や生活の中で、「気付き・考え・行動する」ことができている。	子どもは、学習や生活の中で、気付きをもったり、自分で考えて行動したりできている。	児童の気付きや考えを生かす教育活動を仕組むことができている。
	かしこい子	授業における下記場面の設定 ・めあて・目標設定 ・自己決定 ・交流と対話 ・振り返り	小中	授業のめあてから、自分の目標や気付きをもつことができている。	子どもは、学習や生活の中で、目標や自分の考えをもって取り組むことができている。	児童が主体的に学習活動に取り組めるように、課題把握や自己決定の場を設定することができている。
				自分の考えに、理由をつけて、相手に伝えることができている。	子どもは、自分の考えや意見に、理由をつけて相手に伝えることができている。	自分の考えを根拠をもって伝えることができる対話場面を学習活動に設定することができている。
				人の話を聞くときに、手を置き、目を向け、最後まで聞くことができている。	子どもは、人の話を聞くときに、手を置き、目を向け、最後まで聞くことができている。	相手を意識して対話できる教育活動を仕組むことができている。
	やさしい子	交流・協働体験、発表体験できる場の設定 ・他者への反応 ・あいさつ、時間、掃除	小中	学習や行動を振り返り、成長したことや次に頑張りたいこと、友達のよさなどに気付くことができている。	子どもは、学習や行動を振り返り、気付いたことや思ったこと、頑張りたいことなどを家族と話すことがある。	学習・体験活動において、取組を振り返り、次の活動に生かすことができるように仕組むことができている。
				相手の話をしっかり聞いて、相手を意識した反応を返すことができている。	子どもは相手の話をしっかり聞いて、相手や場に応じた反応を返すことができている。	相手の話を聞き、反応を返すことができるような教育的配慮ができている。
				進んで、大きな声と笑顔であいさつをすることができる。	子どもは、誰に対しても大きな声と笑顔であいさつをすることができる。	大きな声と笑顔であいさつできるような場の設定と評価に取り組むことができている。
	たくましい子	・全校遊び ・生活習慣等調査 ・自主運動(ストレッチ、一輪車、持久走、縄跳び等)	小中	時間やきまりを意識して行動したり、守ったりすることができる。	子どもは、時間やきまりを守って生活することができる。	きまりの遵守や規範意識を育てる場の設定と評価に取り組むことができている。
				掃除やグリーントイムのとき、黙って一生懸命取り組むことができている。	子どもは、進んで掃除や身の回りの整理整頓に取り組むことができている。	学校の環境整備に、主体的に取り組ませるための場の設定と評価に取り組むことができている。
				みんなと仲良く遊ぶことができている。	子どもは、誰とでも分け隔てなく仲良く遊ぶことができている。	児童が主体的に遊ぶことができる場や仕掛けの設定ができている。
いじめ	・開発的生徒指導(いじめ防止宣言、教育相談、道徳・人権教育による啓発)	小中	早寝、早起き、朝ご飯ができている。	子どもは、早寝、早起き、朝ご飯など、基本的な生活習慣を意識して生活することができる。	児童に基本的習慣が定着するような仕掛けの設定や評価ができている。	
			体力を高めるために、自分で目標を決めて、進んで運動に取り組むことができている。	子どもは、体力を高めるために目標をもって生活している。	児童の体力の現状と課題を把握し、児童が目標をもって体力向上に取り組む場の設定や評価ができている。	
			誰かにいじめられたり、誰かをいじめたりすることのない、いじめやいじりのない学校だと思ふ。	学校は、いじめ対策や教育相談体制を整え、子どもにとって学校が安心・安全な環境となっている。	いじめ防止基本方針に則り、全教職員で連携して、児童理解と開発的生徒指導に取り組むことができている。	
地域が元気	つながり	・小中一貫教育・小小連携教育活動 ・家庭・地域連携教育活動 ・「人・もの・こと」の活用	中学校や他の小学校の先生に教えてもらったり、他校の子どもたちと交流したりするのは楽しい。	学校は、周東町の中学校や他の小学校と連携した活動に取り組んでいる。	小中一貫教育を意識した小中連携や小小連携の取組を進めることができている。	
			学校で、お家の人や地域の人と一緒に授業やいろいろな活動をするのは楽しい。	学校は、保護者や地域の意見・要望を踏まえて教育活動に取り組んでいる。	保護者や地域の意見・要望も踏まえながら、家庭・地域と連携した教育活動に取り組むことができている。	
			川上の「人・もの・こと」の素敵について、説明することができる。	学校は、地域の「人・もの・こと」を活用しながら教育活動に取り組んでいる。	コミスクの仕組みを生かし、「人・もの・こと」を教育活動に組み入れた教育課程編成ができている。	
元気発信	・ふるさとを愛する地域学習・活動 ・学校情報発信 ・学校・家庭・地域が総ぐるみとなった活動	小中	川上小学校や、川上地域が好き。	学校は、郷土(川上・周東・岩国)に誇りと愛着をもてるように教育活動に取り組んでいる。	ふるさとを愛する心を育む教育活動や指導場面の工夫ができている。	
			地域や地域の人のために、何かをしたいと考えたり、元気を与えたりすることができる。	学校の教育活動は、地域や地域の方々に元気を与えることができている。	学校の教育活動は、地域や地域の人に元気を与えるための工夫ができている。	
			学習したことを、お家の人や地域の人に、伝えたり、発表したりすることができる。	学校は、様々な方法で情報発信することができる。	学校での児童の様子や出来事の見える化を図るとともに、様々な方法で情報発信することができる。	

# かしこい子

児 童	保 護 者	教 職 員
めあて・目標 (88%)	めあて・目標 (63%)	めあて・目標 (100%)
理由をつけて説明 (100%)	理由をつけて説明 (81%)	理由をつけて説明 (100%)
話の聞き方 (100%)	話の聞き方 (63%)	話の聞き方 (100%)
振り返り (100%)	振り返り (75%)	振り返り (83%)

## <分析>

- + 教職員は、教育活動の中に、目標設定、対話、振り返りの場を設定し、児童も伝え方や聞き方を意識しながら取り組んでいる。
- + 理由をつけて説明する項目では、児童・保護者・教職員共に肯定評価が高い。
- 目標設定や話の聞き方についての評価は、児童・教職員と、保護者で差が見られる。

## <今後の方向性>

→ 授業参観やユニット型研修の折には、目標設定や話の聞き方も視点に入れて参観・価値つけていただく。児童のモチベーションや自己肯定感へ



# やさしい子

児 童	保 護 者	教 職 員
受け答え (100%)	受け答え (56%)	受け答え (100%)
あいさつ (75%)	あいさつ (38%)	あいさつ (67%)
時間やきまり (88%)	時間やきまり (31%)	時間やきまり (83%)
そうじ・整理整頓 (100%)	そうじ・整理整頓 (38%)	そうじ・整理整頓 (83%)

## <分析>

- + 教職員も児童も、人の話に反応を返すことを意識しながら取り組んでいる。
- + 清掃やグリーンタイム（除草）にまじめに取り組んでいる。
- + 学校生活において、きまりを守ることはできている。
- あいさつについては、共通して肯定的評価が低い。
- 時間については守ろうとする意識は育ちつつあるが、守れないことも多い。
- 時間を守ることや環境整備などへの取組は、児童・教師と保護者の評価に差がある。

## <今後の方向性>

→ 気持ちのよいあいさつができるを育てるための取組について検討する必要がある！

# たくましい子

児 童	保 護 者	教 職 員
仲良く遊ぶ (100%)	仲良く遊ぶ (81%)	遊ぶ場の設定 (67%)
基本的な生活習慣 (88%)	基本的な生活習慣 (69%)	基本的な生活習慣 (100%)
体力向上 (88%)	体力向上 (69%)	体力向上 (67%)

## <分析>

- + 仲良く遊ぶことはできている。
- 体力向上については、保護者・教職員共に肯定的評価が低い。

## <今後の方向性>

- 児童の体力の現状を分析・共有し、個に応じた目標をもたせ、体育の授業や行事などに取り組みさせる。
- 体力を向上につながるような全校遊びを児童に考えさせ、取り組みさせる。

# いじめ

児 童	保 護 者	教 職 員
いじめ (88%)	いじめ (75%)	いじめ (100%)

## <分析>

- + 学校では、週1回の「にここアンケート」を踏まえ、いじめ問題の早期発見・早期対応に努めている。

## <今後の方向性>

- 今後も全教職員で共通理解しながら、全校体制で児童によりよいかかわりを継続していく。
- 道徳や体験活動の中で、自分や他者を大切にすることを育む。

# つながり

児 童	保 護 者	教 職 員
交流活動（100%）	交流活動（81%）	交流活動（100%）
地域連携教育（88%）	地域連携教育（75%）	地域連携教育（83%）
地域のよさを説明（50%）	地域資源の活用（94%）	地域資源の活用（100%）

## <分析>

- + 児童・保護者・教職員共に、小中一貫教育や小小連携活動に対する肯定的評価が高い。
- 児童は、川上のよさについて説明できない。

## <今後の方向性>

- 川上学や他教科で学んだことを中心に、川上のよさを伝える場を設定する。
- 川上学は4・5・6年の3年間、毎年同一題材を繰り返すように編成しており、時間をかけて地域のよさを語れる児童を育成していく。

# 元気発信

児 童	保 護 者	教 職 員
ふるさとを愛する心（88%）	ふるさとを愛する心を育てる取組（100%）	ふるさとを愛する心を育てる取組（100%）
元気発信（100%）	元気発信（81%）	元気発信（67%）
情報発信（88%）	情報発信（75%）	情報発信（100%）

## <分析>

- + 児童・保護者・教職員共にともふるさとを愛する心やその心を育てる取組への肯定的評価が高い。
- + 学校だよりやホームページで学校や児童の様子を発信できている。
- 運動会や様々な教育活動が延期・縮小になり、学校の元気が発信できていない。

## <今後の方向性>

- 児童の「好き」や「何かしたい」という強い思いを取り入れながら、教育活動を展開していく。

# 学校評価（前期）総括

## 【かしこい子】

- ◇ 参観やユニット型研修を通して、目標設定や話の聞き方について、児童のよさや成長の共有や価値づけを行う。

## 【やさしい子】

- ◇ 気持ちのよいあいさつができる児童を育てるための取組について改善策を考える。

## 【たくましい子】

- ◇ 児童の体力の現状について共有し、遊びを通して体力向上を図る。

## 【いじめ対策】

- ◇ 小規模校のよさを生かし、全教職員で児童一人一人の思いを共通理解し、よりよいかかわり方を継続していく。

## 【つながり・元気発信】

- ◇ 「学校・地域連携カリキュラム」を活用しながら、川上のよさを伝える場を計画的に設定したり、児童の思いを取り入れながら教育活動を進めたりする。